

宗像市市民参画等推進審議会次第書 会議録（要点筆記）

日時	令和6年10月31日（木）9：00～12：00
場所	宗像市役所 202会議室
委員	<input type="checkbox"/> 新井佳代子 <input checked="" type="checkbox"/> 片岡俊輔 <input checked="" type="checkbox"/> 鎌田隆徳 <input checked="" type="checkbox"/> 鈴木邦治 <input type="checkbox"/> 高山國敏 <input checked="" type="checkbox"/> 種田明美 <input checked="" type="checkbox"/> 水島直子 <input checked="" type="checkbox"/> 福岡佐知子 <input type="checkbox"/> 矢野貴士 <input checked="" type="checkbox"/> 吉村義廣 <p style="text-align: right;">（五十音順、敬称略）</p>
事務局	コミュニティ協働推進課 政策係（八木・高山・濱本・西山・綱脇・井上）

1. はじめに

（会長あいさつ）

本日は宗像市市民サービス協働化提案制度の事前学習会である。3件の提案事業について理解を深めていただきたい。

2. 宗像市市民サービス協働化提案制度提案事業の審査にかかる諮問

（部長あいさつ）

宗像市市民サービス協働化提案制度が始まって18年目となる。市民参画、市民協働の精神を大切に事業を進めていくものである。担当課の説明をうけ、委員の皆様には様々なご意見をいただきたい。

八木部長より福岡会長へ諮問書を手交。

3. 宗像市市民サービス協働化提案制度提案事業の審査について（事前学習会）

（1）令和6年度（令和7年度開始コース）概要、審査方法等について

事務局から資料に基づき説明。制度の概要、募集要項、審査の方法、答申までのスケジュールなどを確認

（2）個別提案（3件の詳細等について）

提案団体：一般社団法人 子ども支援ネットワーク With Wind

担当課：子ども育成課

担当課より提案団体の概要、提案事業の内容等を説明し、事業の詳細、担当課意見等について説明を行った。

《質疑応答等》

(質疑) 学校プレーパークを市内全小学校へどのように広げていくのか。

(担当課) 放課後の子どもたちの安心安全な居場所の拡充を図ることを目的として、モデル的に令和6年度から5ヶ所の小学校でスタートした。全校への拡充のためには、人材育成、国の補助金などの財源も確保していく必要がある。

(質疑) 小学校の学童との棲み分けはどのようにしているのか。

(担当課) 学童からの参加も自由にできるようにしている。

(質疑) 人材確保のために学生などのボランティアの起用は考えているか。

(担当課) 学生ボランティアの導入は行っていない。プレーパークは子どもが自分で考え自由な発想を生かすことを目的としており、子どもたちを見守るプレーワーカーの専門性で成り立っている。ボランティアを入れることによって子どものお世話役になってしまう可能性があるが、今後の団体の人材確保の手法として検討していきたい。

提案団体：一般社団法人 住マイむなかた

担当課：建築課

担当課より提案団体の概要、提案事業の内容等を説明し、事業の詳細、担当課意見等について説明を行った。

《質疑応答等》

(質疑) 前回、委託事務費の中に理事長の報酬が含まれていたが、今年度はどうなっているか。

(担当課) 委託事務費には含まれていない。

提案団体：一般社団法人 住マイむなかた

担当課：学校管理課

担当課より提案団体の概要、提案事業の内容等を説明し、事業の詳細、担当課意見等について説明を行った。

《質疑応答等》

(質疑) 修繕費が適正か確認するために住マイむなかたの職員が現場の監督は行うのか。

(担当課) 監督はしていないが、作業前、完了時の写真や説明において適正に行われているか確認をしている。

- (質疑) 修繕等の作業にはどのくらいの時間を要するか。
- (担当課) 内容にもよるが、半日程度の時間はかかっている。
- (質疑) 事務処理費が高いのではないか。
- (担当課) 市の担当課職員が直接業務にあたる場合と、委託する場合を比較するとコストを抑えることができた。また事務作業に時間を取られないことで、修繕の傾向をつかみ、原因追及等の時間に充てることができている。
- (質疑) 市営住宅の営繕と学校関係の修繕など、内容に大きな違いはあるか。
- (担当課) 学校は、市営住宅に比べると規模が大きく件数も多い。業種も多岐に渡り、放送設備や電気設備など専門性が必要なものがある。また、子どもの危険につながる可能性のもので緊急性の高いものは最優先で対応することが多くある。
- (質疑) 工事は基本的に土日に入ると聞いているが、運営事務局の負担はないか。
- (担当課) 運営事務局には学校と修繕業者をつないでもらっている。その後は業者と学校で直接話をしてもらおう。土日の開錠・施錠については警備会社が対応するため運営事務局の負担は最小限になっている。

4. 協議事項

人づくりでまちづくり事業補助金について事務局から要綱改正（案）を説明。

- (意見) 対象外の食糧費について、スタッフの弁当等目的となる事業の実施に必要な経費のみを対象とすることは出来ないか。
- (事務局) 食糧費は、市に限らず公金の使い方として制限があることが多く受益者負担を考えてほしい費目となる。団体の要望としては、熱中症対策での飲料を対象にしてほしいという意見はある。
- (意見) 補助金対象事業が継続できない団体に対して、制度としてどのように対応していくのか。
- (事務局) 補助金の支給だけでなく、市民活動・NPO ボランティアセンターによる支援の充実と合わせて取り組んでいく必要がある。
- (意見) 団体の事業を支援するだけでなく、中の人材を育成し、様々な活動を展開していくことにつながるという点で画期的な発想だと思う。
- (事務局) ご意見を参考に、より使いやすいものにしていくため、検討していく。